apx communication

▪ インターン特別号 ▪
学生たちが発見した、アピックスの姿

Sep.2026 vol. 71
株式会社アピックス 社外報

What VALUE does this company create?



この会社が生み出している価値とは何だろう。

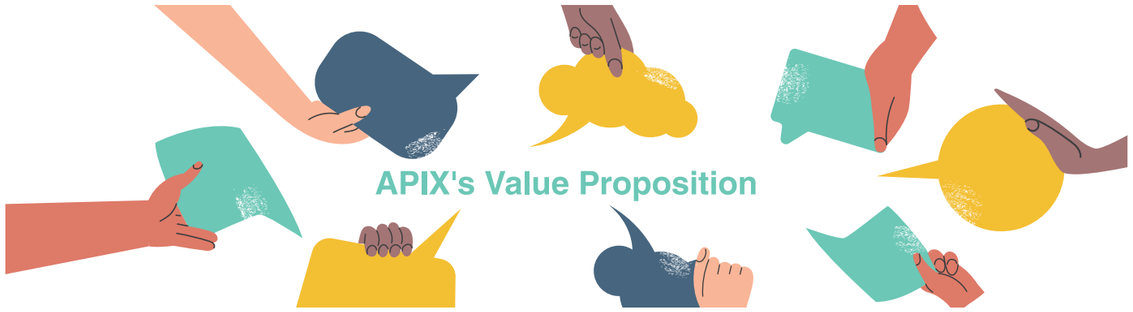
100 Years and Beyond

APIX

学生たちが発見した、アピックスの姿

アピックスのインターンシップでは、現場での体験を通じて仕事への理解を深めてもらうプログラムを実施しています。今号では、参加した学生たちの率直な学びや発見から見えてきたアピックスの姿をご紹介します。（記事内容は学生たちが作成したものを掲載しています）

経営企画部　平岩伸一



TOPICS 1　アピックスは何を提供しているのか

アピックスは、お客様のニーズに合わせた質の高いサービスを提供することができます。高品質の秘訣は、思いやりの心です。インターンシップでも、さまざまな場面で「次の人が分かりやすいように」と相手のことを考えて行動する姿が見られました。それが、社員間の円滑なコミュニケーションや業務の効率化につながり、日々のサービスの質を高めています。

また、AIなどの新しい技術も積極的に取り入れ、より効率的な方法を追求しながら日々進化しているからこそ、お客様のニーズにも対応できています。こうしたサービスを通じて、お客様の業務の品質や効率を向上させるだけでなく、日々の業務で蓄積された知識や情報をデータとして正確に保管・管理することで、これまで培われてきた知見を次の世代へと引き継いでいくこともできます。



生み出す価値

アピックスのBPOサービスを活用することで、治験に関する文書の確認やデータの整理・管理などの業務を任せることができます 。医療機関や製薬企業は、本来集中すべき専門性の高い業務に時間を使うことができるため、安心して仕事を進め、業務全体の品質や効率の向上につながります。

社会貢献のために

アピックスは電子化で正確に治験の記録をサポートすることで、医療機関や製薬企業がこれまで積み重ねた記録を次の世代へ引き継ぐための「大切な財産」として残すことができます。お客様が過去の記録を確認することで、同じような治験を行う際の参考にしたり、判断に迷ったときに適切な対応を考えたりすることもできます。このように、一つひとつ丁寧かつ正確に積み重ねた記録が大切な知識として未来に残っていきます。



TOPICS 2　業務体験リポート

データ整理から印刷物へ　～プロダクションマネジメント（PM）部での体験を通して～

PM部では、お客様から受け取ったデータを整理し、印刷・発送準備をしています。
私たちが体験した業務では、サンプルデータを用いて一連の業務を行いました。印象に残ったのは、仕事を次の担当者へ確実につなぐための工夫です。効率化ツールを活用し、次の担当者が作業や確認をしやすいように、相手の立場に立った伝え方を心がけていました。正確な業務を支える連携の大切さと、社内のあたたかい雰囲気が伝わってきました。

重要なポイント



業務時間を短縮し、ヒューマンエラーを防ぐために、正確かつ効率的に業務を進められるツールを活用することが重要だと教えていただきました。

業務の工夫



印刷の仕様ごとにクリアファイルを色分けしてすぐにわかるようにしたり、カゴごとに案件を分けたりすることで、ほかの案件と混在しないように工夫していました。

品質を高める　～カスタマーリレーション（CR）部での体験を通して～

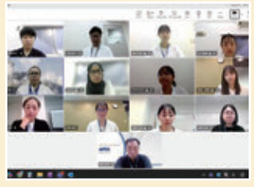
CR部では、治験に関わるデータを電子化して整理、保管しています。私たちの体験ではサンプルデータを用いて治験に関する情報の登録と、問い合わせメールの作成を行いました。オーダー内容と依頼文書の相違や不明点が見られた際、安全に治験が行われるようにお客様へ必ず問い合わせを行うなど、間違いのないように気を付けていることを知りました。さらに、AIを活用して業務を効率的かつ正確にこなしていることを学び、品質を高めるために試行錯誤していると感じました。

重要なポイント



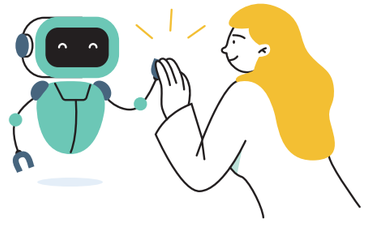
問い合わせの際は、丁寧な敬語が使われているか、お客様が気持ちよくメールを確認できるよう簡潔でわかりやすく、不備がないかを確認することが重要だと教えていただきました。

アドバイス



仕事を覚える上で、疑問は放置せずに確認することや、教わったことを自分なりの手順に整理することが大切だとアドバイスをいただきました。

TOPICS 3　インターン生が考えたこれからの可能性



インターンシップを通して、アピックスは多くの書類や情報を扱っていることを知りました。これからは、さらにAIを活用することで、業務の効率化だけでなく、新しい仕事の方法やサービスを生み出せると考えます。より大切な業務や、お客様のニーズに対応するための業務に時間を使えるようにすることで、サービスの向上や、より多くのお客様への対応が可能になります。また、社内やお客様との情報共有・コミュニケーションをよりスムーズにし、変化するニーズにも早く対応できる会社へ成長していくことが、アピックスのこれからの可能性だと考えます。





―社長―
コラム

AIの進化における、アピックスのBPOとは

代表取締役社長　河村　武敏

5daysのインターンシップ、恒例の社長インタビューは自分にとっても緊張の時間です。今回は「社長と考える『5年後のアピックス』」というテーマで、「AIの進化における、アピックスのBPOとは」という本質を問う質問から始まりました。参加の学生たちは普段からAIとの対話に親しんでいる世代。当社はお客様へ提供するサービスにおいて「生産性の向上」だけにとどまらず、「AIとの共生により、BPOサービスの価値を高める」と説明しましたが、果たしてどこまで伝わったか？
AIは、良質のインプットがあってこそ、良質のアウトプットを生み出すもの。これからの若い頭脳が「サービス価値加速」のエンジンになることを願うばかりである。

TOPICS 4

編集後記



安全に治験が行われるよう、治験に関するデータを電子化する際には、誤りがないか繰り返し確認していることを学びました。　谷口悠伽

和やかな雰囲気の中で、実際に業務を体験したからこそ分かる工夫やりがいを知ることができました。　神吉琴菜

最初、BPO業界について知りませんでしたが、社員さんの丁寧な説明や実務体験を通して、仕事内容や役割を理解できた貴重な5日間でした。
ダンティリエウ

インターンシップを通して、実際の業務をすることで、その仕事が向いているのかどうか自分と向き合うことができた5日間でした。
潟永愛美

アピックスで仕事やサービスを学び、チームワークやコミュニケーションの大切さを実感しました。貴重な経験を今後の成長に活かしたいです。　タスリマ

研究活動を通して身につく、課題解決能力や人へわかりやすく伝える力が生かせられるのではないかと思いました。　平野心音



株式会社アピックス

本　　社　〒541-0059 大阪市中央区博労町1-2-2　TEL:06-6271-7291（代表）
東京支店　〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-4-14 OZAWAビル3F
BPOリンク大阪　〒542-0082 大阪市中央区島之内1-8-12　徳銀相産ビル3F
URL http://www.apix.co.jp　E-mail info@apix.co.jp

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
※ この社外報は、Iridesse™ Production Press で出力しました。

当社の社外報は今号・過去号ともに
デジタルでもお楽しみいただけます
こちらのQRコードからぜひご覧ください